

令和7年度 京都市「新体力テスト」【結果】 ＜ 高 等 学 校 ＞

- ・ 令和7年4月～6月に、全校で京都市独自の体力テストを実施。
- ・ 前年度の京都市「新体力テスト」と比較して、男子は合計点で上昇傾向(1年男子を除く)。女子は全学年で低下(特に、2・3年女子で低下傾向の種目が目立つ)。
- ・ スポーツ庁「体力・運動能力調査」の令和6年度全国値と比較すると、ほとんどの種目で全国値を下回る(2年男子・3年女子の20mシャトルラン、2年男子の50m走を除く)。

— 結果概要 —

1. 実施内容等について

■ 実施種目

8種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	※20mシャトルラン/持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
運動能力	筋力	筋力・筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	スピード・走能力	筋パワー・跳能力	筋パワー・投能力・巧ち性

※ 20mシャトルラン/持久走はどちらかを選択。

(多くの学校が20mシャトルランを選択。持久走は標本数が少ないため、本資料には20mシャトルランの結果を記載)

■ 人数(標本数)及び平均値 … 別紙1「学年別平均」を参照。

2. 前年度(令和6年度)本市調査との比較

- ・ 合計点では、男子は令和6年度より若干の向上がみられる(1年男子を除く)が、女子は全学年で低下(特に2・3年女子で低下傾向の種目が目立つ)。
- ・ 2年男子を除いてほぼ全学年男女で低下がみられるのが、反復横とび(筋パワー・跳能力)、50m走(スピード・走能力)、立ち幅とび(筋パワー・跳能力)。長座体前屈(柔軟性)は上昇傾向。
- ・ 2年男子は、全ての種目で向上し、合計点の伸び率も高い。女子は、多くの種目が令和6年度を下回る。

＜令和6年度本市調査との比較＞※低下傾向▲編掛け

種目	男子			女子		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
握力	▲1.0%	2.4%	0.7%	▲0.8%	▲3.0%	▲2.5%
上体起こし	▲4.4%	1.2%	1.6%	▲0.9%	1.0%	▲3.8%
長座体前屈	▲0.6%	1.6%	7.7%	2.9%	1.7%	▲0.6%
反復横とび	▲2.1%	1.9%	▲0.4%	▲0.6%	▲0.1%	▲2.0%
20mシャトルラン	▲0.7%	2.3%	▲2.4%	▲1.4%	▲6.7%	7.3%
50m走	▲1.7%	3.6%	▲0.1%	▲2.1%	▲2.9%	▲3.4%
立ち幅とび	▲0.7%	0.4%	▲0.4%	▲0.6%	▲4.2%	▲4.7%
ボール投げ	1.7%	0.9%	1.0%	▲3.4%	▲2.9%	▲3.8%
合計点	▲1.9%	2.2%	0.2%	▲0.3%	▲2.4%	▲4.9%

3. スポーツ庁「体力・運動能力調査」(令和6年度速報値)との比較

- ・ 合計点は、男女とも全国値を下回る。
- ・ 20mシャトルラン(全身持久力)、50m走(スピード・走能力)を除いて、男女ともすべての学年で全国値を下回る。
(なお例年、この2種目は全国値を上回る傾向にある)
- ・ 低さが目立つ種目は、握力(筋力)、上体起こし(筋力・筋持久力)、ボール投げ(筋パワー・投能力・巧み性)。

<令和6年度全国調査との比較>※全国値より低い▲編掛け

種目	男子			女子		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年
握力	▲7.0%	▲5.1%	▲5.9%	▲5.6%	▲5.4%	▲7.1%
上体起こし	▲7.3%	▲4.7%	▲5.8%	▲5.4%	▲7.0%	▲9.8%
長座体前屈	▲3.9%	▲3.1%	2.1%	▲0.7%	▲1.7%	▲3.7%
反復横とび	▲2.1%	▲0.8%	▲1.3%	▲2.3%	▲3.0%	▲3.6%
20mシャトルラン	▲1.5%	0.8%	▲1.5%	▲1.9%	▲4.7%	6.1%
50m走	▲1.8%	1.4%	▲0.4%	▲1.3%	▲2.7%	▲2.9%
立ち幅とび	▲1.4%	▲1.7%	▲2.7%	▲1.2%	▲4.0%	▲4.8%
ボール投げ	▲5.4%	▲7.5%	▲5.3%	▲8.5%	▲4.8%	▲10.0%
合計点	▲4.4%	▲3.6%	▲4.1%	▲4.5%	▲6.8%	▲8.8%

4. 各種目の傾向

※詳細は、別紙2「経年変化資料」を参照。

握力(筋力)	全国値より低く、差がある種目の1つ。6年度と比較すると、男子は上昇傾向。
上体起こし(筋力・筋持久力)	全国値より低く、差がある種目の1つ。
長座体前屈(柔軟性)	全国値より低い。6年度と比較すると、男女ともに上昇傾向。
反復横とび(敏捷性)	全国値より低い。6年度と比較すると、男女ともに低下(2年男子を除く)。
20mシャトルラン(全身持久力)	2年男子、3年女子は全国値を上回る。
50m走(スピード・走能力)	2年男子は全国値を上回る。6年度と比較すると、男女ともに低下傾向。
立ち幅とび(筋パワー・跳能力)	全国値より低い。6年度と比較すると、男女ともに低下傾向(2年男子を除く)。
ボール投げ(筋パワー・投能力・巧み性)	全国値より低く、差がある種目の1つ。6年度と比較すると、男子は上昇傾向。

5. 他校種の傾向

【小学校】男子・女子とも合計点は若干向上(6年女子を除く。※全種目実施は4～6年)。全国値と比較すると、(長座体前屈と4、5年男子の50m走を除く)ほぼ全ての種目が全国値を下回る。

【中学校】男子は前年度から引き続き、合計点で上昇傾向(2年男子を除く)。女子は全学年低下。全国値と比較すると、(1年男子のボール投げを除く)ほぼ全ての種目が全国値を下回る。

6. 今後について

全市で体力向上を目指すため、下記の実践を有効活用してください。

- ・ ICTを活用した体力向上(今月のダンス動画、京都サンガF.C.オンライントレーニング)
☞ GIGA ポータルページからチェックしてください。

参考資料

スポーツ庁「体力・運動能力調査」
政府統計ポータルサイト「e-Stat」